



鉄道の時代

人々の生活を支える鉄道

国立映画アーカイブが所蔵する貴重な文化記録映画を
講師の解説付きで上映する映画会「月曜シネサロン&トーク」。
2020年度は「鉄道の時代」をテーマに、国鉄時代に活躍した「ディーゼル特急」や
日本最後の大型蒸気機関車が牽引する急行列車「急行ニセコC62重連」の他、
青函トンネル、地下鉄など、幅広く人々の生活を支える鉄道の活躍や
鉄路の開発を紹介する作品を全4回に渡って上映します。

オンライン
開催※

第3回

雪と闘う

2021年3月15日(月)~4月14日(水)

※ 第3回は会場での上映会は実施いたしません。

上映作品 『雪と闘う機関車』(1958年)

『雪の行路 急行「ニセコ」C62重連』(1971年)

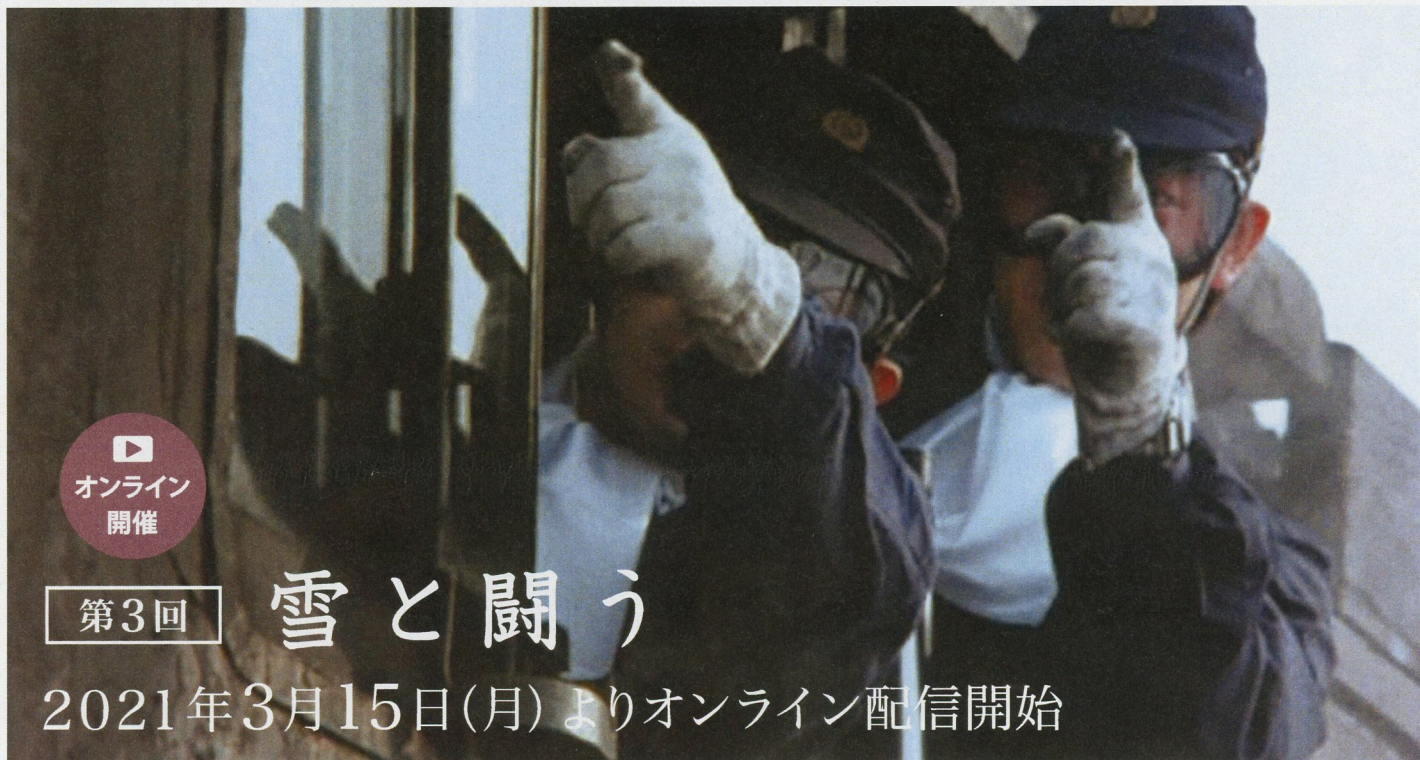
写真:『雪と闘う機関車』より

東京国際フォーラム+国立映画アーカイブ
月曜シネサロン&トーク

主催：東京国際フォーラム 国立映画アーカイブ

※右記日程は変更となる場合がございますので、公式サイト(www.cinesalon.jp)をご確認ください。

- | | | |
|-----|-------------|--------------------------------|
| 第1回 | 地下鉄の開発 | ※上映終了-2020年10月12日(月)- |
| 第2回 | 鉄路を掘る | ※上映終了-2020年12月7日(月)- |
| 第3回 | 雪と闘う | オンライン開催 2021年3月15日(月)~4月14日(水) |
| 第4回 | 暮らしを守る/輸送の力 | 開催日未定 |



▶
オンライン
開催

第3回 雪と闘う

2021年3月15日(月)よりオンライン配信開始

写真:『雪の行路 急行‘ニセコ’C62重連』より

『雪と闘う機関車』

1958年(機関車労働組合/企画:教育宣伝部) 上映時間:30分

機関車労働組合が、日夜奮闘する国鉄、機関車労働者の仕事と働く姿を丹念に綴った秀作。北海道北部の豪雪地帯、音威子府を舞台に、機関区の1日から、修繕庫での機関車の解体・検査・修繕作業、乗務員の生活などが分かりやすく丁寧に描かれる。融雪・凍結防止作業、雪かき車のラッセル車、マックレー車、ロータリー車や、気動車など、説明とともに貴重な映像で紹介。

■監督・構成:谷恭介 ■監修:小津淳三 ■撮影:林建樹 ■照明:八鍬重一 ■音楽:中村信也
■解説:宮田光 ■協力:機労旭川支部、旭川 名寄 音威子府 各機関区分会



『雪の行路 急行‘ニセコ’C62重連』

1971年(鉄道ジャーナル社) 上映時間:23分

「銀河鉄道999」のモデルとしても知られる蒸気機関車C62。1948年に製造され、走行距離は地球の64周分に相当すると言われたつばめマークの2号機を先頭に、C62が重連で急行列車ニセコを牽引し、3時間で小樽—長万部間の5つの峠越えを含む140kmを走る、最後の雄姿を綴った作品。C62重連の力強く美しい疾走と機関士の作業を静かに見つめ、入念に編集された映像に、作り手の惜別の思いが感じられる。

■制作・著作:竹島紀元 ■協力:日本国有鉄道、日本国有鉄道北海道総局、小樽築港機関区/長万部機関区、朝日ソノラマ



監修・解説 小野田 滋 (おのだ しげる) 鉄道総合技術研究所勤務・工学博士・土木学会フェロー

1957年、愛知県生まれ。1979年、日本国有鉄道入社。南武線高架工事、立川駅改良などを担当。1987年、(財)鉄道総合技術研究所入所。1998年「鉄道用煉瓦構造物の技術史的研究」で工学博士授与(東京大学)。現在、鉄道総合技術研究所情報管理部担当部長。『鉄道構造物探見』(JTB/2003年)、『高架鉄道と東京駅』(交通新聞社新書/2012年)にて交通図書賞受賞。その他、多数の鉄道関連書籍を執筆。

▶ オンライン配信 (ストリーミング配信)

【配信期間】2021年3月15日(月)~4月14日(水)

視聴方法

ご視聴を希望するには視聴用URLをメールにてお送りします。下記公式サイトのお申込みフォームよりお申込みください。

月曜シネサロン&トーク 公式サイト <http://www.cinesalon.jp>

* オンライン配信対象作品、講師の解説、解説資料を配信いたします。* 詳細は公式サイトをご確認ください。

【主催】東京国際フォーラム / 国立映画アーカイブ

【お問い合わせ】東京国際フォーラム事業推進部 シネサロン担当 03-5221-9043 (月・水・金 10:00~17:00) / cinesalon@t-i-forum.co.jp